

ひびきあうと

2027

I.3I | 日 |

13:30~16:00 [受付13:00~]

会場

パトリア日田 大ホール

大分県日田市三本松1丁目8-11

つながる

見て、聞いて、感じて、
キミなら何をつなげてみる？

日本舞踊
×
電子音響音楽
×
ドローン
×
映像

対象／乳幼児から大人まで
参加／無料・要座席指定券



申込みはこちらから
<https://form.run/@symposium2026>
10月31日(土) 10:00よりパトリア
日田窓口でも申込みできます

異なる表現と

テクノロジーが

交差するとき、

私たちは

何を共に創るのか

本シンポジウムでは、表現と表現が応答し合う創造のプロセスを舞台で体験します。日本舞踊、電子音響音楽、映像、ドローンが互いに響き合い、芸術と科学技術が交差する新たな共創の可能性を探ります。

シンポジウムは二部構成です。第一部では、日本舞踊家・梅川壱ノ介氏、作曲家・清水慶彦氏と子どもたちによるアートメッセージの贈り合いから生まれた作品を上演します。続く第二幕では、身体表現としての日本舞踊、デジタル表現としての電子音響音楽、空間を彩る映像演出、そして空間を自在に移動するドローンが互いに応答し合う、新たな舞台芸術に挑みます。

第二部では、学習科学者をモデレーターに迎え、出演アーティスト・技術者とともに第一部の公演を振り返ります。芸術・工学・教育の視点から、多様な表現が交わることで生まれる創造のプロセスや、その文化的・教育的価値について考えます。



TIMETABLE

- 13:30 ● 開演・趣旨説明
- 第一部
- 13:35 — 第一幕 アートメッセージの贈り合いが創る作品の世界
- 13:55 — 第二幕 日本舞踊と電子音響音楽と映像とドローンがつなぐ創造の世界
- 14:20 ● 休憩
- 第二部
- 14:40 — パネルディスカッション
- 15:50 ● 閉会行事〔~16:00〕

※小さなお子様の声もこの場の一部として、皆さまで安心して楽しめる環境を目指しています。開演中の人退場は自由ですが、安全で快適な鑑賞環境のため、客席内を歩き回ることとはご遠慮くださいますようお願いいたします。

舞踊家



大分県日田市出身、新潟大学卒。東京バレエ団、歌舞伎俳優を経て、2016年日本舞踊を基軸とする舞踊家に転身する。師匠は、人間国宝・坂東玉三郎氏。自身の舞踊公演はもとより、「日本遺産」での公演はじめ「正岡子規の俳句」(道後温泉)、「虎踊」(横須賀の民俗芸能)、「広瀬淡窓の漢詩」(大分県日田市)のほか、ミュージカル、オーケストラ、アニメなど様々なジャンルとのコラボレーションを手掛けている。日本舞踊を通して国内外問わず、「新たな世界」を創出している。水郷ひた観光親善大使。

作曲家／怪談作家／大阪教育大学 教授



フィールド・レコーディングやサウンドスケープ・コンポジションに取り組みつつ奇談怪談の収集著述に勤しむ。作曲家として作品集CD『六相門融』(studio N.A.T)が『レコード芸術』誌推薦盤に選定。2026年8月に檜垣智也氏との共同制作によるCD『夏八景』をリリース(engine books/engine music)。怪談作家(筆名:丸太町小川)として単著怪談集『大分怪談』(竹書房怪談文庫)など。京都市立芸術大学卒、同大学院修了、博士(音楽)。大分大学教育学部准教授を経て大阪教育大学教授(作曲)。

株式会社オーイーシー

上席執行役員／グローバルイノベーション事業部長



入社後コーポレート部門にて法務やISO品質・環境・情報セキュリティ・個人情報マネジメントシステムの構築・管理責任者・コンサルタントと、後半ICTサービス部門の管理職を経て現部門。先端技術やICTサービスを通じて、県内外のお客様・同業者・異業種連携や、産学官金連携・医工連携・海外連携・メディア連携により、DXやSDGs地域課題解決、地域のデジタル化への取り組みを推進中。

株式会社ティーアンドエス クリエイティブディレクター



デジタル領域を中心に、様々なツールを使い分けながら企画から実装までを手がけています。私がものづくりで一番大切にしているのは、単に綺麗な「絵を作って終わり」にしないこと。その先にある「体験」に向き合い、触れた人が何を感じて、どんな感情を持ち帰るかという心の動きまでを設計することを得意としています。デジタルという便利な道具を使いながらも、本当に届けたいのは「人」の感情です。体験する人の目線に寄り添い、綺麗だったで終わらないクリエイティブをお届けします。

学習科学者／静岡大学 情報学部 教授



静岡大学情報学部行動情報学科に所属し、学習科学および教育工学を専門とする研究者である。知識創造型学習、協調学習、CSCL、学習分析学を主な研究領域とし、学習者が対話や共同活動を通してアイデアを発展させ、知識を構築していく過程を理論的・実証的に探究してきた。特に、Knowledge-Building Discourse Explorer (KBDeX) を用いた談話やアイデアの可視化・分析を通して、協調的な知識構築過程を捉える方法論の発展に貢献している。

梅川壱ノ介

UMEKAWA Ichinostuke

清水慶彦

SHIMIZU Yoshinobu

野崎浩司

NOZAKI Hiroshi

副島雪

SOEJIMA Yuki

大島純

OSHIMA Jun